

～化粧品・食品・医薬品への応用～

油脂の界面化学をふまえた

オイルゲルの物性制御と製品トラブル対策

1名分料金で
2人目無料

◆日時:2024年10月10日(木) 12:00～16:30

◆会場:江東区産業会館 第2会議室

◆聴講料:1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーHP <https://www.rdsc.co.jp/seminar/241055>

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】※講師のご略歴等の詳細は弊社HPでご確認下さい

東京工科大学 応用生物学部 教授 柴田 雅史 氏

【講座趣旨 / プログラム】 ※詳細内容は弊社HPでご確認下さい

オイルを固化したオイルゲルは、口紅スティック、リップグロス、アイライナー、ファンデーションなど化粧品を中心に食品・医薬品の基剤としても広く活用されている。また各種乳化系における増粘剤・安定剤としても重要な役割を担っている。このようなオイルゲルの物性を制御する技術は、使用感・製品安定性をはじめ、製品外観、塗布のしやすさ、塗布膜の美しさなど製品性能全般に密接に関わっているといえる。

本セミナーでは、まず前半にオイルゲル化剤の種類とゲル化可能なオイルならびにゲル物性との関連を体系的に解説する。後半は応用編として、化粧品・食品・医薬品における油性ゲルの最新技術について解説をおこなう。特に製品安定性、すなわち起こりがちなトラブルとして、ブルーミング、発汗、ゲル物性の変化について、その発生機構と抑制のための考え方を中心に説明する。

◇オイルゲル化剤の種類とゲル化の機構

- －低分子ゲル化剤
- －粒子によるゲル化
- －オリゴマー、ポリマーによるゲル化
- －乳化を用いたオイルのゲル化
- －オイルワックスゲル

◇ゲルの硬度発現機構

- －ワックスがオイル固化の主流であるわけ
- －オイルゲルの物性を自在に制御するには
- ・オイルの種類と硬度の関係
- ・固化剤の種類と硬度の関係

◇化粧品における油性ゲルの活用の実際

- －スティック製品(口紅、リップクリーム、制汗剤)

- －ペースト状、ゼリー状製品(リップグロス、オイルゼリー)
- －鉛筆状製品(アイライナー、リップライナー)
- －乳化製剤(サンスクリーン、ファンデーション)

◇食品、医薬品での油性ゲルの活用

- －油脂食品
- －健康食品

◇オイルゲルの構造評価

- －熱分析の活用
- －光学顕微鏡観察
- －SEM観察
- －レオロジー評価

◇オイルゲル製品のトラブル

- －結晶の析出(ブルーミング)
- －オイルの分離(発汗)
- －製造条件によるゲル物性の変化
- －経時での物性の変化
- －共存物質によるゲル物性の変化
- －トラブルの予想と定量的評価方法

『オイルゲル』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

 Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>